

ごみ集積所のカラス対策について

カラスは、巣作りをはじめ3月頃から、子育ての時期が終わる7月頃まで活動がより活発になります。カラスがごみ集積所で、ごみ袋の中身を物色している光景を目にすることがありますが、カラスは優れた視覚を持っているため、赤っぽい色は肉類、水にぬれているようなものは魚類というように「えさ」となる食べ物を探し出します。

ごみ集積所がカラスのえさ場とならないよう対策を行いましょう。



家庭でできる対策

「食品ロス」ゼロを目指し、えさとなる生ごみを減らしましょう。」

1. 生ごみを出すときは水分を十分に切ります。
2. 生ごみはビニール袋などの小さい袋に入れてしっかり口を結び、中身が見えないよう新聞紙やチラシなどで二重に包みます。



ごみ集積所でできる対策

「防鳥ネットからごみのはみ出さないよう、ごみ全体を包むようにして隙間を作らないようにしましょう。」

1. 防鳥ネットを重石などで押さえ、めくれ上がらないようにしましょう。
2. 防鳥ネットが破れたり、足りない場合は下記までご相談ください。



家庭ごみの出し方についてお願い

○夏は家庭から出されるペットボトルの量が増えます。ペットボトルを入れるカゴが足りないため、ビニール袋のままごみ集積所に出されている場合が見受けられます。黄カゴが足りない場合は、青カゴや赤カゴも利用していただき、直接カゴに入れてお出してください。

また、黄カゴが足りない場合は、越谷市リサイクルプラザ業務担当

(☎048-976-5375)にご相談ください。何卒ご協力をお願いいたします。



○燃えるごみの中に燃えないごみや缶が混ざっていることがあります。正しいごみ分別にご協力をお願いします。分別方法については、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」内の分別帳、越谷市 HP ごみ収集カレンダーをご覧ください。



○雨の多い時期に入ります。ゲリラ豪雨や突風など荒天の場合、ごみ集積所に置かれた防鳥ネットやカゴ(黄・青・赤)が道路上に飛び出し、危険な場合があります。あらかじめ利用しているごみ集積所の状況を確認し、飛ばされない様ご注意ください。

